

# 山と人のシンポジウム

## 基調講演 (概要) 「なぜ私たちにとって山は大切なのか？」

マーティン・プライス 氏\*

\*ユネスコ「山岳の持続可能な開発」議長、英国スコットランドハイランズ・アイランズ大学教授

平成30年（2018年）4月4日、長野市美術館で「山と人のシンポジウム」を開催しました（同年2月に山岳環境の研究促進と人材育成のための連携協定を締結した筑波大学山岳科学センターとの共催）。世界的な山岳研究者マーティン・プライス氏\*が“山”の恵みとその持続可能な利用について世界的な視点から講演をされました。その概要を掲載します。

### ● 山には多くの人々が暮らしている

山は、熱帯から両極地へかけていろいろな地域に存在し、地球の陸地面積の4分の1（24%）を占めています。そこには世界の人口の13%（9億人）が暮らしており、その多くは発展途上国です。田舎が広がり、棚田など伝統的な土地利用が続けられています。イタリアのドロミテ地方は素晴らしい山の景観を持っています。ここでも農業や林業が盛んです。

山域では、農林業だけでなく観光も大事な産業になります。イタリア山岳地帯のスキーエリアの人々は、夏は農業、冬はスキーのインストラクターなどで山と関わっています。

メキシコシティーや長野のように、山には、田舎だけでなく大きな都市もありますが、高標高の都市は山に囲まれているため、大気汚染が問題になります。

### ● 山は給水源

世界の人々にとって山がきわめて重要なのは、給水源だからです。山の斜面にそって空気が上昇し雲が発生し雨や雪が降るのです。山に積もった雪は春から夏の水源となります。人々は昔から水源地としての山の重要性を認識し崇拝してきました。統計資料によると、世界で使われる水の60～80%が山の水です。地表面積の24%を占める山の大切な資源です。パキスタン等の非常に乾燥した土地でも山の水で灌漑がおこなわれます。インダス川はすべての水がヒマラヤの山々に由来しており、ここには世界最大規模の灌漑施設があります。そのおかげで生産される多くの米で多くの方々が養われています。

水は良い面ばかりでなく洪水災害ももたらします。その一方で水はエネルギーを産み出し、産業に使われています。アルプスでは、あるダム建設に伴い水



講演するマーティン・プライス氏

底に沈んだ集落に対して補償金が支払われており、地域のインフラ整備に使われています。同じことはノルウェーでもコスタリカでもあります。また、低地の工業地帯はダムの恩恵を受けています。

### ● 山は生物多様性の宝庫

山は生物多様性の宝庫でもあります。アメリカ西部山地、ブラジル、南アメリカ、東南アジアなどの生物多様性ホットスポット34地域のうちの25地域が全域または一部が山岳です。これらの地域には、固有種、例えばドロミテのアイベックス、ルワンダのゴリラ、中国のある場所固有のエーデルワイス等々が生息・生育しています。

生物多様性のもうひとつの恵みは薬草です。ネパールのハーブ類はヨーロッパをはじめ世界各国に輸出されています。森のキノコは種類が多く、年間の国際取引額は2000万ドル以上と推定されます。育てるのに年月を要する木よりも大きな経済的価値を持つことがあります。

大麦など穀類の多くも、その原種は山岳域に由来します。作物の病気対策には原種が必要であり、そ